

命を守る安全運転

10月までに23人が死亡

10月21日と22日の2日続けて交通事故による死者が出ました。今年10月までの死者は23人、昨年同期に比べ6人減少しましたが、相変わらず高い発生率となっています。

交通非常警戒で

450件の違反を摘発

このため、富士警察署は10月23日から26日までの4日間、交通非常警戒を行いました。市内53カ所で520人の警察官を動員して指導取締にあたった結果、450件の違反を摘発しました。このなかにはスピード違反や信号無視など、直接交通事故につながる違反が多くありました。

事故防止はみんなの願い

これから年末にかけ例年交通事故も多くなる時期です。事故を起こし

てから、こうすればよかった、あの時ちょっと注意をすればよかったと考えても手遅れです。現代の複雑な交通事情の中で、事故を防ぐためには、お互いに安全運転をする以外手だてはありません。

ドライバーのみなさん自分ひとりだけの道路でないという事を考え、ハンドルを握ってください。



【スピード違反の取締りを行う警察官】

自転車の整備点検をお忘れなく

みなさん、自動車のブレーキが故障すればすぐに修理をしますね。ところが自転車ではどうでしょうか。ゆっくり走ればだいじょうぶと、故障したまま乗っている人が意外に多くいます。

さきごろ自転車組合の協力で、市

内11カ所において1078台の自転車を点検しましたが、67台に当たる726台の不良自転車がありました。この726台のうち自転車事故につながるブレーキ不良車が547台もありました。これは点検自転車2台に1台の割合で、多くの人がいかに危険な自転

車を利用しているかということです。また、その無関心さにはおどろきました。

最近、市内で発生する交通事故の中でも自転車事故は、歩行者事故に次いで

自転車組合が
毎月第3土曜日に
無料整備点検

多くなっています。ブレーキの悪いもの、ライトが点灯しないものなどは、自転車事故の原因となり、交通事故発生誘因となります。自転車ぐらいと軽くみないで、完全な整備を行い安全な自転車を利用してください。

なお、自転車組合では毎月第3土曜日に、子供自転車を主体に無料点検を店先で行っていますので、ご利用ください。

